

肝硬変における C 型肝炎治療

肝硬変患者における C 型肝炎治療成功後は肝細胞がんのリスクが低下することが、医学雑誌「Gastroenterology」に掲載されました。



2200例のC型肝炎・肝硬変患者に対して抗ウイルス薬を投与し、95%にウイルス学的著効を達成しました。



1年後の肝臓がん発生率は、著効例において有意に低い結果となりました（Child-Pugh A；8% vs. 12%、Child-Pugh B；8% vs. 12%）。